

平成30年度 決算

このような審議を経て 決算を認定しました



昨年度市役所で行われた「下町ロケット」ロケの様子

一般会計「歳入」

市税

1億701万1287円

市民税・固定資産税など、不納欠損額が増えている理由は、4月から債権管理条例に基づき滞納整理室が設置され調査が進み、法人の解散整理・相続・破産などの滞納分を不納欠損で処理した。

滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。

滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。

滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。滞納を放置していた収納課の責任や、能力が問われるのではないかと。

一般会計「歳出」

悪質なもの裁判所の手続をとるようになってきているが、実績はない。

総務費

窓口業務人材派遣委託料

1419万4134円

人数の確認と、1人当たりにかかる費用について。

人数については5人で、1人当たり280万円くらいである。

ガス事業譲渡清算金活用基金 利子積立金

4万3697円

将来的に残った基金の使い道の変更は検討していくのか、現時点での認識は。

基金条例の中に、学校施設と保育園施設しか使えないという縛りがある。今後の予定としては、粟生津保育園大規模改修に使わせていただき、残りの部分は吉田地区の基金のため、吉田地区の施設改修を検討していきたい。

民生費

要保護児童対策事業

1565万2176円

相談体制は充実されているが、昨年度より通告・一時保護件数は増加している。その要因と今後の対策は考えているのか。

近年、虐待に関する報道が多くなったため、地域の方の意識が高まり通告が増えている。通告の内容を検討し、緊急性の高いものは児童相談所と協力し対策している。

労働費

勤労青少年ホーム管理運営費

171万4233円

実際のどのように利用されているのか。

一昨年、吉田勤労青少年ホームの空調が壊れたが修理に至らなかった。今後は燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、補助金返還の生じる処分制限期間が経過する中期(令和5年)において廃止する方針である。現在それでも利用したいという4団体のみ利用している。

商工費

産業観光受入体制整備事業

364万2000円

本事業で補助を行った結果、受け入れはようになったのか。

平成28年度から29年度で9135人、29年度から30年度で2512人の増加実績があり、燕市独自のPR効果が発揮できたものと考えている。

教育費

児童クラブ運営事業

1億7266万2985円

運営事業費増額について。

登録児童数の増加に伴う非常勤職員の増員、また「児童クラブきらら」において2組に改編し、受け入れ可能児童数が増加した。

月ヶ岡特別支援学校送迎バス運行委託料

231万円

送迎バスの稼働はどのようになっているのか。稼働していないときは、ほかに有効活用をすべきではないのか。

土日・長期休みは稼働していない。車両が古いため稼働していないときは、修理の時間に充てている。45人乗りバスの運転手の問題でうまく活用できていないが、今後検討していきたい。

学校図書館充実事業

1332万5924円

平成29年度に比べ減額されている理由は。

平成29年度は蔵書の充実に向けて重点的に図書を購入したため、今年度は517万8000円減額

になった。文科省の学校図書館図書標準数を意識し充実してきたが、市内小・中学校全体で約90%になってきている。今後は蔵書の充実ももちろんだが、生徒の活字離れを防ぐための読書大賞の実施などを中心に進めていきたい。

燕市立図書館空調設備等改修事業

1億3505万6560円

授乳室も設置され、図書館の冷暖房空調が整備されたが、その効果はどうか。

授乳室に空調設備がなく、寒いときはヒーターを置き、暑いときは扇風機を置き対応している。

東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業

304万3430円

内訳はどうなっているのか。

平成30年8月17日から19日に燕市で開催され、本大会・レセプション・BBQ交流会・信濃川大河津資料館の見学を実施した。燕市内の大会選考会に10万円、本大会の実施運営費用として294万円を計上した。大会運営費の中に県外4市から遠征してくるチームの交通費や滞在費も含まれている。